

東北工大鼓舞 後輩に託す



東北工大―東北学院大戦で最後の応援をする林さん

仙六野球 応援団OB・林さん「引退」

「本日をもって、俺はこの白い学ラ
ンを脱ぐ」。仙台六大学（仙六）野球
リーグの東北工大応援団OBとして、
個人で活動が続けていた林龍太郎さん
（26）が今月、「引退」した。

◇
仙台市青葉区の東北福祉大球場で12
日にあった春季リーグ東北工大―東北
学院大戦が最後になった。1人きりで
も応援団として声をからし、力強い演
舞で鼓舞した。

「打つぞ工大、逆転するぞ」。林
さんの声に、スタンドの野球部員たち
も「そっだ！」と呼応して声援を送っ
た。試合は東北工大が敗れたが、「諦
めない姿を見せてくれた。強い大学相

手に、これからも頑張ってほしい」と
話した。

東北工大に入学した2018年春、
活動休止中だった応援団を復活させ
た。卒業後の22年以降も仙台と実家の
ある福島県いわき市を拠点に仕事の傍
ら応援を続けていた。大学に1人いた
応援団員が今春卒業し、再び休部にな
ったことが引退の決め手となった。

「自分が初めて応援したのが18年春
の学院大戦。今季初戦の相手が学院大
で、いい区切りだと思った」。9年目
の春季初戦で活動を終えた。

今後はいわき市で家族が営む建設会
社の仕事に専念する。「これからは私
服で観戦です」と笑う。母校と仙六へ
の愛情は尽きそうにない。「いつか応
援団が復活したら、全力で応援しま
す」。新たな後輩に会える日を楽しみに
している。
（佐藤琢磨）

団員ゼロで決断 愛情は尽きず